

令和6年度秋季企画展

洋画家 野見山暁治と飯塚展

野見山暁治が描いた飯塚の炭坑と遠賀川

フランスに留学して描いたベルギーのボタ山と炭坑作品

彼の絵画制作の原点となった少年時代に過ごした飯塚

その炭坑や町の風景を古地図・古写真で紹介します



廢坑(A) 1951年 福岡県立美術館蔵



炭坑の坑口とボタ山 (広津繁義 撮影)



野見山暁治が描いた炭坑で使用された安全灯



野見山暁治が描いた炭坑の石炭

令和6年

10.18 金 → 11.24 日

水曜日休館

記念
講演会

11月2日(土) 13:30~15:30 / 研修室にて:定員40名

演題:「野見山暁治と炭坑絵画」

講師:福岡県立美術館 学芸員 岡部るい ※電話で事前申し込みが必要です。

大人の
ための
朗読会

11月10日(日) 13:30~14:30 / 研修室にて:定員40名

演目:野見山暁治「最期のアトリエ日記」より

出演:朗読11人の会 ※電話で事前申し込みが必要です。

主催 飯塚市教育委員会

入館料	大人	230円(160円)
	高校生	110円(70円)
	小中学生	50円(30円)

飯塚市歴史資料館

開館時間/9:30~17:00(入館は16:30まで)

※()内は20名以上の団体料金
土曜日は高校生以下無料

〒820-0011福岡県飯塚市栢の森959-1 TEL・FAX:0948-25-2930

